市内景気動向調査結果

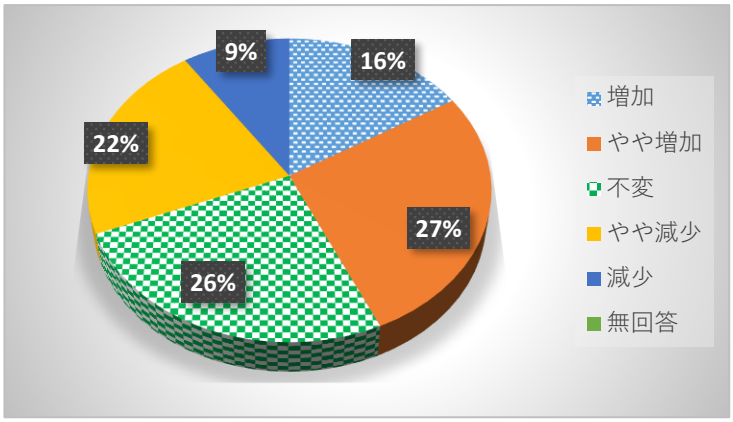
この調査は、第１四半期（令和７年４月から６月）と前年同期間（３ヶ月）の比較を、当商工会員より回答いただいたものです。

有効回答数	建設業	製造業	運輸業	卸小売業	サービス業	その他
74	17	10	ー	19	22	6

※その他は、回答数が少なかった運輸業、不動産業、飲食業

１．売上高はどう変化したか。

増加	12
やや増加	20
不変	19
やや減少	16
減少	7
無回答	0
合計	74



【コメント】

○ 増加・やや増加が43.2%、不変が25.7%、やや減少・減少が31.1%であった。前年同期では、増加・やや増加が35.9%、不変が39.7%、やや減少・減少が24.4%であった。売上高の増加、減少の二極化が大きく進んだ。

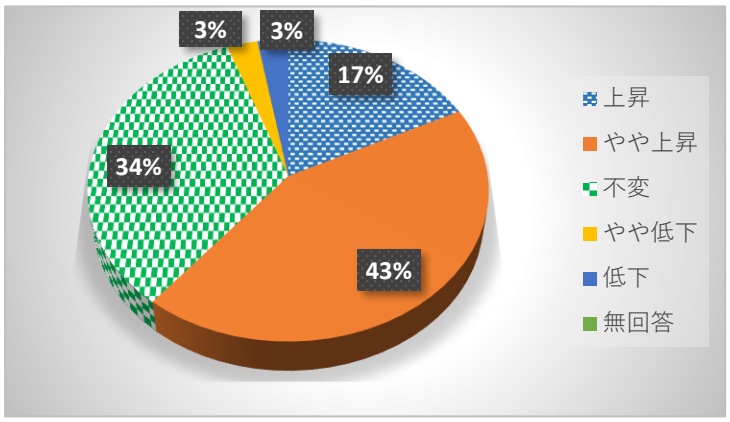
○ 増加・やや増加の業種別割合は、建設業が47.1%、サービス業が45.5%、製造業が40.0%、卸小売業が21.1%であった。

○ やや減少・減少の業種別割合は、卸小売業が57.8%、建設業が29.4%、サービス業が22.7%、製造業が20.0%であった。

○ 卸小売業で売上減少の割合が非常に大きく、個人消費が冷え込んでいると考えられる。

２．仕入単価はどう変化したか。

上昇	13
やや上昇	32
不変	25
やや低下	2
低下	2
無回答	0
合計	74



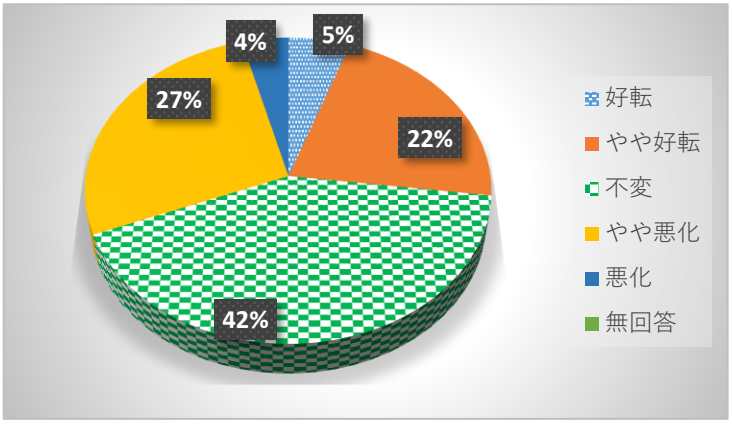
【コメント】

○ 上昇・やや上昇が60.8%、不変が33.8%、やや低下・低下が5.4%であった。前年同期では、上昇・やや上昇が70.5%、不変が25.6%、やや減少・減少が2.6%であった。

○ 上昇・やや上昇の業種別割合は、製造業が70.0%、卸小売業が63.2%、建設業が64.7%、サービス業が50.0%であった。
○ 前年同期に比べて上昇の割合は減少しているが、依然として高い割合で推移している。

3．採算について

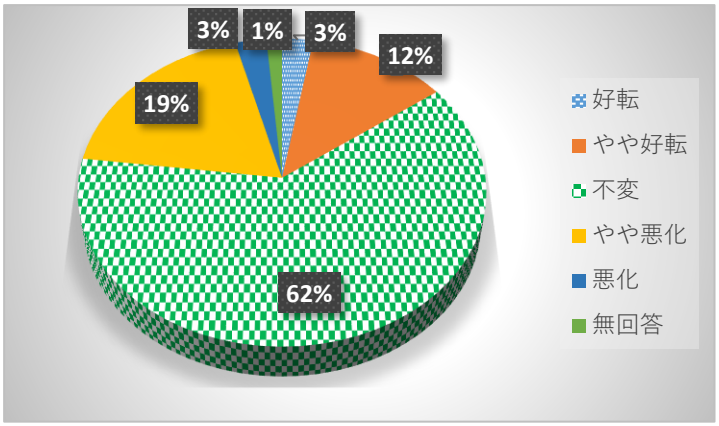
好転	4
やや好転	16
不変	31
やや悪化	20
悪化	3
無回答	0
合計	74



【コメント】
○ 好転・やや好転が27.0%、不変が41.9%、やや悪化・悪化が31.1%であった。前年同期の好転・やや好転が23.1%、不変が39.7%、やや悪化・悪化が37.2%であった。
○ やや悪化・悪化の業種別割合は、卸小売業が52.6%、製造業が30.0%、建設業が23.5%、サービス業が22.7%となっている。
○ 数値的には若干改善されているものの、仕入単価等の上昇・高止まりが続いており、売上減少もあり厳しい状況が続いている。

4．資金繰りについて

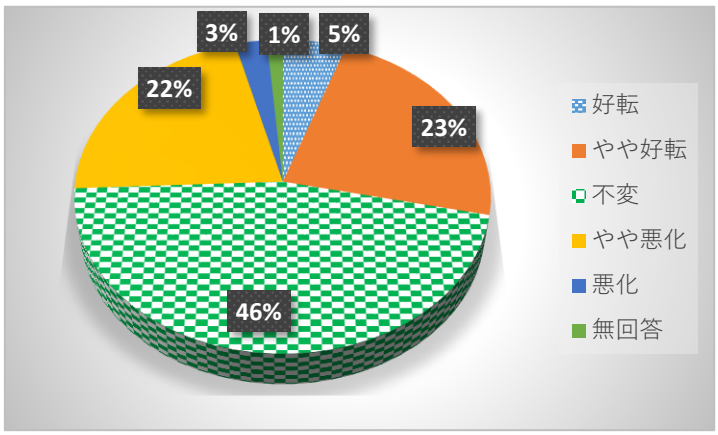
好転	2
やや好転	9
不変	46
やや悪化	14
悪化	2
無回答	1
合計	74



【コメント】
○ 好転・やや好転は14.9%、不変が62.2%、やや悪化・悪化が21.6%であった。前年同期の好転・やや好転が15.4%、不変が62.8%、やや悪化・悪化が21.8%であった。
○ 資金繰り悪化の業種割合では、卸小売業が42.1%、サービス業が27.3%、製造業が10.0%、建設業が5.9%であった。
○ 卸小売業においては、売上高の減少、仕入単価の上昇、採算の悪化、資金繰りの悪化と、どの比率も高い状態にあり今後の動向を注視する必要がある。前年同期は、製造業が同様の状態であった。
○ 資金繰りについては、ほぼ前年同期と同様の状況で、資金需要は大きく増えている状況にはない。

5．業況について

好転	4
やや好転	17
不変	34
やや悪化	16
悪化	2
無回答	1
合計	74



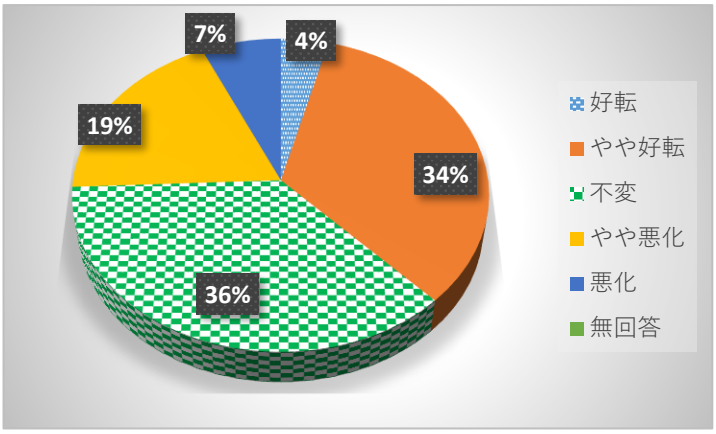
【コメント】

○ 好転・やや好転は28.4%、不変が45.9%、やや悪化・悪化が24.3%であった。
前年同期は、好転・やや好転が29.5%、不変が43.6%、やや悪化・悪化が26.9%であった。

○ 業況悪化の割合が高い業種では、製造業が40.0%、卸小売業が36.8%、建設業が23.5%であった。

6．今後３ヶ月間の業況について

好転	3
やや好転	25
不変	27
やや悪化	14
悪化	5
無回答	0
合計	74



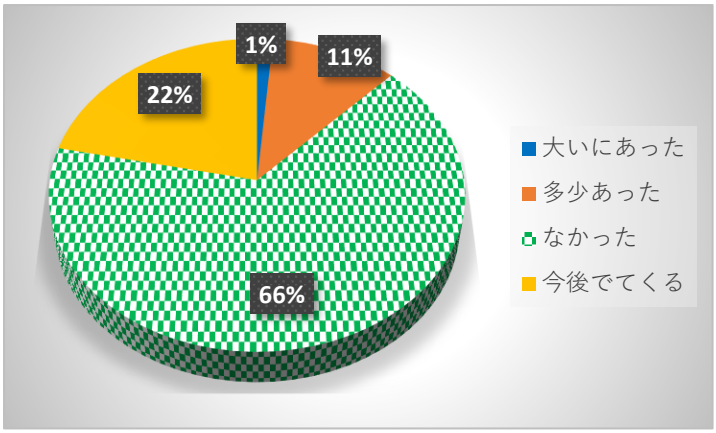
【コメント】

○ 好転・やや好転が37.8%、不変が36.5%、やや悪化・悪化が25.7%で、
前年同期では、好転・やや好転が24.4%、不変が58.9%、やや悪化・悪化が16.7%であった。

○ 今後3ヶ月間の業況予想でも、売上高同様に好転と悪化の割合が高く二極化が進むと予想される。

7．トランプ関税の影響について

大いにあった	1
多少あった	8
なかった	49
今後でてくる	16
合計	74



【コメント】
○ 日本国内においては、輸出産業を中心に深刻な影響が出ていますが、市内においてはアメリカ向けの輸出を主力としている企業がないことから、現在のとこと影響は限定的となっている。
○ 今後、自動車産業を中心とする輸出企業の業績悪化が国内経済に影響を与える可能性もあり、動向を注視する必要がある。

■回答事業所からのコメント

【建設業】
○ 営業範囲の違う従業員を採用した。仕事の受注が広がり売上も増加し、採算も好転。
○ 契約状況がスムーズに運んでいます。
○ 工事受注見込みが発注取りやめにより受注額の減少につながったため。民間工事についてはコストアップ（原材料および人件費）により、事業進捗確度が不透明になってきていると感じるので、自前での事業創出が必要と感じています。
○ 仕事量の減少。
○ 昨年に引き続き、市発注工事が少なく、今後の見通しも期待できないので、受注確保に苦難している。
○ 予算の良い工事を受注することができ、年内継続見込みである。
○ 受注高に変更はありません。
○ 当社は4月から業務が多忙になるため、売上が伸びてくる。
○ 春先は去年より忙しかったが、選挙の年なので、ここへ来て仕事が薄め。始まったと思うとお盆休みがやってきていて、選挙の年は分かっているが、やはり動きにくい。
○ 物価高による仕入単価等の値上げで、採算確保が厳しい状況にある。

【製造業】
○ 工場受注量は変わらず。原材料や電気ガス等のエネルギーは高騰する分の負担交渉を各メーカー先に行い、受領金額に反映できている。この時期の動きとしては、ほぼ不変。変化がない状況が続いている。
○ 自社の仕事の受注は順調ですが、鉄工業界は建設需要が減っているため、思わしくありません。これからラピダスの関係でサプライチェーン構築のため、建築は増加が予想されます。
○ 国策の補助金制度での受注が期待できるため。
○ 原油価格の上昇と為替の状況により影響を受ける。
○ 前年同期と比べると売上、損益はやや好転はしているものの、今年度の目標値に対しては、まだ不足している状況。労務費や外部調達品の値上げの影響で、製品への価格転嫁が必須の状況となり、コストアップによる受注への影響が出てきている。
○ 今季販売先が大きく変更となるため、現販売先の在庫分を先行増産しており好転。しかし変更後の先行きは不透明な部分もあり、業況はあまり良くないと想定している。

【運輸業】
○ 軽油価格の変動幅が大きいので、予想が難しい。

【卸小売業】
○ 4～6月期は、おおむね好調だが大きな貸倒損失を計上する予定があり、資金繰りは悪化する予定。
○ 除菌消臭水は、インフルエンザ、ノロウイルスの感染症減少とともに低下しています。ゆるキャラグッズも厳しい市場ですが、市内ホテルでファイターズ野球観戦者や修学旅行生が買ってくれています。もう少し北広島のアピールが必要です。子ども向けゲームや催事は8月が中心に売上増が見込まれます。

○ 物価上昇が続いている点と、労働環境の改善のため、賃金アップ等で経費がかなり増えてしまっており、利益が取りづらい状況が強くなっています。
○ 人手不足、経費は圧縮したいが現場は四苦八苦。
○ 今後の対策として、現在取り組んでいる製糖工場（廃糖密液）や日甜工場から排出される「クリンカアッシュ」および「バイオマス灰」等を農業資材として活用することにより、有機質肥料（特殊肥料）となり、売上等が向上するものと推測しております。
○ 天候不順で入荷が減少し、１本当たりの単価も高くなり今までのような品物が提供できなくなりました。注文は価格が上がっているので、なんとかやりくりしています。

【サービス業】
○ 新車の長納期が改善しつつあり、新車販売が増加。中古車価格（仕入時）がさがったことで、販売価格も抑えることができ、売上が増加した。
○ 公共工事の状況に左右されるため、これからが繁忙期となります。
○ 家庭の事情で4～6月は、仕事のペースを少なくしていました。
○ ファイターズ関連の事業、イベントに期待する。期待だけでなく、自分たちで仕掛けていく方法を考え、北広島市内でお金を使って貰うようにしたいと常に思っています。実現は難しい…。
○ 利用者数が増えている。
○ 物価高により、商材や原材料等価格が上がっているが、料金の思い切った値上げができない状況になっている。お客様も理美容の利用を減らしたり、セルフカットなどをしていると考えられる。
○ 取引先の稼働率低迷に伴い、売上等、業況が悪化した。
○ 新年度からの人件費増加、設備整備費、資材費等の値上げ傾向が続いているなど、計画予算に対する実績収支は厳しい状況である。7月下旬から8月末にかけては、業界的にも繁忙期となることから、ある程度の売上確保は期待できるが、中東情勢や油暫定税率の影響から燃料費の予測が明確でないこと、燃料・光熱の使用が通年でもっと多くなることから、次四半期の収益性で大きな期待はできないと考える。

【その他】
○ 飲食店としては仕入価格の高騰が一番大きい。最低賃金ばかり上がり、バイトも雇えません。結局社員に負担がかかり、労働状況が悪くなるばかり。水光費が下がれば利益も増える見通しが……
○ 北広島市の市況の変化が少しずつ見えてきている。用途地域の変更が実施されれば、市況は大きく変わると見込んでいる。
○ 空室が減ったこと。各部屋にエアコン設置で良い影響があったと思う。